【十津川村】

校務DX計画

教育委員会及び学校が協力してグーグルのクラウドサービスを活用しながら校務の効率化・ペーパーレス化に取り組む。

（１）校務のペーパーレス化

教育委員会及び学校は、紙による書類のやりとりを減らすため、データ共有を促進する。

※データ共有の書類や方法を検討する。

（例えば学校から紙で提出されている学校行事の届出をデータ共有に変更する。）

※クラスルームやチャットスペースなどメール以外のグーグルサービスの活用方法を検討する。

（２）学校と教育委員会との校務の効率化

学校と教育委員会との情報伝達や情報共有を効率的に行うためチャットスペースの活用を促進する。

※パソコン等のトラブル対応でチャットスペースを活用して情報の伝達及び共有を行い、校務の効率化に取り組む。

（３）１人１台端末及び校務用端末の更新とネットワークの整備

令和２年度に調達した１人１台端末が更新時期を迎える令和７年度に県域での共同調達により１人１台端末の更新を行う。また令和７年１０月にＯＳのサポートが終了するWindows10の校務用端末についても別途更新を行う。

令和２年度に整備した第一小及び中学校のネットワーク機器（ＡＰ等）の保証期間（５年）が満了することから、令和７年度に第一小及び中学校のネットワーク機器の更新を行う。

令和７年度に県域で更新予定の校務支援システムについては、名簿情報の不必要な手入力作業を一掃して校務の効率化を図るとともに新しい校務支援システムと村の校務系ネットワークの環境をふまえて必要なネットワーク整備を行う。

※中学校のパソコン教室の在り方について検討する。

（４）学校におけるＦＡＸや押印の原則廃止

学校での業務のやり取りにおいて、原則ＦＡＸを使用しないこととし、保護者・外部とのやり取りでは、書類の押印が不要となるよう押印廃止に取り組む。